

源氏物語 浮舟（1957）

メディア 映画
ジャンル 時代劇 ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 119分
初公開日 1957/04/30

【解説】
北条秀司の同名戯曲をもとに「月形半平太」の衣笠貞之助が脚色・監督を務めた。「宇治十帖」に登場する浮舟の悲恋を描く王朝絵巻。「朱雀門」の八尋不二が共同で脚色し、「母白雪」の竹村康和が撮影を担当した。
母親の中将と平安の都を訪れた浮舟は、光源氏の子である薫の君と出会い、恋に落ちる。浮舟と中将は匂の宮の館に滞在しているが、美貌の貴公子である匂の宮は気に入った女を次から次へと愛する快楽主義者だった。浮舟は薫の君から想いを告げられるが、その気持ちを受け入れることができない。匂の宮は薫の君が皇女二の宮と結婚することになったと吹聴し、動揺する浮舟を抱いてしまう。薫の君は地位も名誉も投げ打ち、浮舟のもとへ牛車を急がせるのだったが…。

【クレジット】
監督 衣笠貞之助
製作 永田雅一〔製作〕
企画 辻久一
原作 北条秀司
脚色 八尋不二
衣笠貞之助
撮影 竹村康和
美術 山中伸吉
太田誠一
音楽 斎藤一郎
出演 長谷川一夫 光源氏の子 薫の君
山本富士子 浮舟
市川雷蔵 皇子 匂宮
三益愛子 浮舟の母 中将
中村鴈治郎 帝
中村玉緒 浮舟の侍女
浦路洋子 皇女 二の宮
柳永二郎 白藤の大臣
夏目俊二 右近小納言
阿井美千子 右近の北の方 早蕨
浪花千栄子 女房 浦風
毛利菊枝 乳母 衛門
藤間紫 女房 小篠
山路義人 匂宮の供人 時方

松浦築枝	弁の尼	
石原須磨男	薫の君の従者	桑 鴈
朝雲照代	中の君の女房	園 生
浜世津子	命 婦	高 瀬
橘 公 子	山 路	
乙羽信子		